様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道スポーツ専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	スポーツ健康学科	夜・通信	210 時間	160 時間	
	スポーツトレーナー学科	夜・通信	240 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道スポーツ専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 以下内容がまとめられた「学生便覧」を年度毎に作成し入学時に提示、「シラバス」はインターネット上に公表、周知する。 ・教育理念、教育目的、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーが明示されている。 ・学事暦、授業時間、履修に関する事項、進級・卒業・課程修了に関する事項、試験に関する事項が明示されている。 ・学科毎のカリキュラムおよび教育体系図が明示されている。 ・各授業科目の年間指導計画(シラバス)がまとめられ、授業目的、到達目標、評価方法・評価基準、履修主題・履修内容等が明示されている。 授業計画(シラバス)については、自己点検評価報告書を学校関係者評価委員会にて確認し、さらには教育課程編成委員会(年2回)における意見交換等を経て10月以降より作成を開始し2月末を目処に完成、4月以降に公表を行う。	
授業計画書の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)に科目毎の評価方法、基準が明記されており、評価試験、レポート、小テスト、提出物、その他(授業態度等)にて適正に評価を行っている。 各科目担当教員における成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。 評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。 「学則」および「学則施行細則(教務内規)」に則り、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し、校長の決裁で履修を認定する。 ・前期成績判定会議(9月下旬 全学年) ・卒業判定会議(3月上旬 卒業対象学生) ・進級判定会議(3月中旬 進級対象学生)	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績管理システムを活用し、個人の各科目における評点の合計を履修科目数で平均化することにより順位付けがされ成績の分布状況等を把握している。いずれの学科においても同様の取り扱いである。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「学則」および「学則施行細則（教務内規）」に則り、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合、校長が卒業の認定または課程の修了の決裁を行っている。 ・授業料等の納入金が全納入されること。 ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき。 「卒業の認定、課程の修了」の公表は、担任等から当該学生に通達される。 なお、学生が身に付けるべき資質・能力の目標については、スポーツ指導者に必要とされる「協調性、リーダーシップ、プレゼン能力、観察力、肉体的・精神的タフさ、勤勉さ等」と定める。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道スポーツ専門学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
財産目録	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
事業報告書	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/
監事による監査報告（書）	https://yoshida-g.gr.jp/johokokai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	スポーツ健康学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,530 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	750 単位時間 /単位
			2,910 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
95人		67人	0人	11人	43人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）   以下内容がまとめられた「学生便覧」を年度毎に作成し入学時に提示、「シラバス」はインターネット上に公表、周知する。   ・教育理念、教育目的、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーが明示されている。   ・学事暦、授業時間、履修に関する事項、進級・卒業・課程修了に関する事項、試験に関する事項が明示されている。   ・学科毎のカリキュラムおよび教育体系図が明示されている。   各授業科目の年間指導計画（シラバス）がまとめられ、授業目的、到達目標、評価方法・評価基準、履修主題・履修内容等が明示されている。

成績評価の基準・方法   (概要)   成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。   評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。   「学則」および「学則施行細則（教務内規）」に則り、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定する。   ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）   ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）   ・進級判定会議（3月中旬 進級対象学生）
卒業・進級の認定基準   (概要)   「学則」および「学則施行細則（教務内規）」に則り、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合、校長が卒業の認定または課程の修了の決裁を行っている。   (卒業)   ・授業料等の納入金が全納入されること。   ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき。   (進級)   ・各年次所定の授業時間以上を終了したとき。   ・残りの修業年限で卒業できる可能性があるとき。   学生に対する「卒業の認定・課程の修了、進級の認定」の公表について、担任等から当該学生に通達される。
学修支援等   (概要)   ・クラス担任制をとり学習指導及び各種相談に応じている。   ・必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	28人 (82.4%)	6人 (17.6%)
(主な就職、業界等) スポーツインストラクター、スポーツトレーナー、運動指導員等			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者が連携し次の細やかな指導・対応を行っている。 ・個別面接による相談対応。 ・「就職実務」授業等の実施。 ・履歴書作成、模擬面接指導。 ・業界研究、エントリー指導。 ・求人情報の早期開示。 ・外部講師による就職セミナー（年2回）の実施。 ・就職説明会学内開催及び参加指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・健康運動実践指導者 受験者 29名 合格者 12名 合格率 41% ・ジュニアスポーツ指導員 受験者 27名 合格者 27名 合格率 100% ・トレーニング指導者 受験者 9名 合格者 8名 合格率 88% ・水泳コーチ1 受験者 2名 合格者 2名 合格率 67% ・エアロビック指導員 受験者 2名 合格者 2名 合格率 100% ・スポーツプログラマー 受験者 13名 合格者 13名 合格率 100%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	3人	4.6%
(中途退学の主な理由) ・進路変更 ・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・入学前のオープンキャンパスや保護者説明会において学校生活、教育内容等の理解を図る。 ・クラス担任による、初期段階での相談体制。 ・副学科長、学科長、校長による段階的な指導体制。 ・成績不振な学生に対する補講対応。 ・外部機関によるオンライン健康相談の実施。 等		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	スポーツトレーナー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,670 単位時間/単位	2,460 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	420 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	960 単位時間 /単位
			3,960 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人		141人	0人	11人	43人	54人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）   以下内容がまとめられた「学生便覧」を年度毎に作成し入学時に提示、「シラバス」はインターネット上に公表、周知する。   ・教育理念、教育目的、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーが明示されている。   ・学事暦、授業時間、履修に関する事項、進級・卒業・課程修了に関する事項、試験に関する事項が明示されている。   ・学科毎のカリキュラムおよび教育体系図が明示されている。   各授業科目の年間指導計画（シラバス）がまとめられ、授業目的、到達目標、評価方法・評価基準、履修主題・履修内容等が明示されている。
成績評価の基準・方法
（概要）   成績の評価は100点満点とし、点数によりA～Dに分類、うちA～Cを合格とし履修を認定している。   評価方法は定期試験、課題並びに学習活動等を総合的に勘案して行う。   「学則」および「学則施行細則（教務内規）」に則り、以下、所定の時期に実施される各種判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定する。   ・前期成績判定会議（9月下旬 全学生）   ・卒業判定会議（3月上旬 卒業対象学生）   ・進級判定会議（3月中旬 進級対象学生）
卒業・進級の認定基準
（概要）   「学則」および「学則施行細則（教務内規）」に則り、3月上旬に実施される卒業判定会議において、学修成果を厳格かつ適正に評価し履修を認定したうえで、以下を満たした場合、校長が卒業の認定または課程の修了の決裁を行っている。   （卒業）   ・授業料等の納入金が全納入されること。   ・各学科における所定の授業時間数を履修し、当該課程を修了したとき。   （進級）   ・各年次所定の授業時間以上を終了したとき。   ・残りの修業年限で卒業できる可能性があるとき。   学生に対する「卒業の認定・課程の修了、進級の認定」の公表について、担任等から当該学生に通達される。

学修支援等
(概要)
・クラス担任制をとり学習指導及び各種相談に応じている。   ・必要に応じ保護者との三者面談を通し学習意欲の向上を促す。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	1人 (2.4%)	41人 (97.6%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) スポーツインストラクター、スポーツトレーナー、運動指導員等			
(就職指導内容) クラス担任と就職担当者が連携し次の細やかな指導・対応を行っている。 ・個別面接による相談対応。 ・「就職実務」授業等の実施。 ・履歴書作成、模擬面接指導。 ・業界研究、エントリー指導。 ・求人情報の早期開示。 ・外部講師による就職セミナー（年2回）の実施。 ・就職説明会等への参加指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
・アスレティックトレーナー	受験者 11名	合格者 10名	合格率 90%
・健康運動指導士	受験者 19名	合格者 8名	合格率 42%
・健康運動実践指導者	受験者 33名	合格者 21名	合格率 64%
・トレーニング指導者	受験者 35名	合格者 21名	合格率 60%
・水泳コーチ I	受験者 2名	合格者 1名	合格率 50%
・エアロビック指導員	受験者 1名	合格者 1名	合格率 100%
・スポーツプログラマー	受験者 9名	合格者 9名	合格率 100%
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
135人	11人	8.1%
(中途退学の主な理由) ・進路変更 ・学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・入学前のオープンキャンパスや保護者説明会において学校生活、教育内容等の理解を図る。 ・クラス担任による、初期段階での相談体制。 ・副学科長、学科長、校長による段階的な指導体制。 ・成績不振な学生に対する補講対応。 ・外部機関によるオンライン健康相談の実施。 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スポーツ健康学科	100,000 円	730,000 円	220,000 円	<その他>
スポーツトレーナー学科	100,000 円	730,000 円	220,000 円	入学検定料、教育充実費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
・学校関係者評価委員は卒業生、保護者、地域住民、企業関係者、高等学校関係者、その他教育に関する有識者3名以上により構成する。 ・学校関係者評価委員会は、年1回、原則8月に実施する。 ・当該委員会は、学校が行った次の評価項目(教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果・教育成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、教育の内部質保証システム、財務、社会貢献・地域貢献、国際交流)の結果に基づき評価を行う。 ・学校関係者評価委員会実施後、学校(校長)は当該委員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。 ・自己点検・評価は、毎年3月に実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人日本フットサルトップリーグ専務理事	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業役員・卒業生
社会医療法人朋仁会整形外科北新病院 スポーツ医学センター長 リハビリテーション部長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
ていね駅南口治療室代表	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
公益財団法人北海道スポーツ協会 事務局次長兼総務・会計課長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/sports/